34

自分だけのリップカラーをつくろう!

[団体出展]　　株式会社資生堂(東京都)

●どんな実験なの?

色を混ぜ合わせて、自分の好きなリップカラーをつくる実験です。

●実験のしかたとコツ

(1)自分のつくりたい色を考えます。

(2)つくりたい色をスプーンで少しとり、中央にある透明なバルクへ入れてよくかき混ぜます。
(この時、少しだけ取ることと、よくかき混ぜるのがきれいな色をつくるポイントです。)

(3)色が薄いと思ったら、もう少し同じ色を加えてよくかき混ぜます。

(4)色が均一になったら、別の色を加えてかき混ぜ、色がどう変わるか観察します。
(一度に全色を混ぜると黒くなってしまうので、少しずつ色を足していきましょう。)

(5)さらに別の色も加えて、自分の好きな色をつくってみましょう。

(6)好きな色ができたら、パール剤を少しずつ加えてよくかき混ぜます。

(7)自分の好きな「キラキラ具合」になったら完成です。

色と色を混ぜて別の色をつくることを「混色(こんしょく)」といいます。混色には、光を使った加法混色(かほうこんしょく)(色を足すことで明るくなる)と、絵の具などを使った減法混色(げんぽうこんしょく)(色を足すことで暗くなる)がありますが、これは減法混色の実験です。今回は、化粧品で使われるバルク(※1)やパール剤(※2)を使って、絵の具にはない「つや」や「キラキラ」をつくることができます。

※1 化粧品に必要な固体のワックス・液体の油・ゲル化剤などの原料を混ぜてできたもの

※2 アイシャドウや口紅などに配合され、光を浴びる角度によってキラキラと輝くもの

●気をつけよう

原料が目に入らないよう注意しましょう。万が一入ってしまった場合は、すぐに水で洗い流してください。

●もっとくわしく知るために

・減法混色について
東京商工会議所編「カラーコーディネーションの基礎　カラーコーディネーター検定試験3級公式テキスト第4版」(8章　混色と色再現)中央経済社(2011)

・資生堂の研究・生産拠点について
URL http://www.shiseidogroup.jp/rd/network.html